



【ボート少年女子シングルスカル決勝】終盤、スパ
ートする秋田の浅利（奥）＝花巻市田瀬湖ボート場

ボート少年女子シングルスカルの浅利真美子（秋田高3年）は得意の後半で猛烈な追い上げを見せ、準優勝を果たした。インターハイの6位から順位を上げ、「うれしい。自信がいった」と胸を張った。

前半は力を温存し、後半のスパートに勝負を懸けるスタイルで臨んだ。決勝は

スパート

500m地点を8人中3番目で通過し、750mでスパート。力強くぐいぐいと進み、優勝した四方美咲（京都）を射程圏に捉えた。2秒71及ばなかったが、「十分に持ち味を発揮できた」と笑顔を見せた。インターハイ後に長距離をこぐ練習を重ね、中盤以降の安定感が増したという。

終盤に猛烈スパート

秋田高のボート部は女子部員が浅利だけ。男子部員と同じトレニングメニューをこなしてきたことにより、「足の踏ん張る力が強化され、1回のこぎで進める距離が長くなった」と浅利。休日には父均さん（59）にかほ市での指導の下、由利本荘市の神社で約240段の石段ダッシュを繰り返した。

レース後、均さんらに祝福され、「最後まで全力でこぐ姿を見せて家族に感謝を伝えたかった」と語った。両親と姉2人はボートのインターハイ出場者。「いつか自分も全国の舞台で活躍する」という目標を持って練習を続けてきた。「高校最後の舞台で表彰台に立てて良かった。大学でもボートを続け、日本一を目指す」と前を向いた。

（佐藤裕奈）



【ボート少年女子シングルスカル決勝】終盤、スパ
ートする秋田の浅利（奥）＝花巻市田瀬湖ボート場

ボート少年女子シングルスカルの浅利真美子（秋田高3年）は得意の後半で猛烈な追い上げを見せ、準優勝を果たした。インターハイの6位から順位を上げ、「うれしい。自信がいった」と胸を張った。

前半は力を温存し、後半のスパートに勝負を懸けるスタイルで臨んだ。決勝は

スパート

500m地点を8人中3番目で通過し、750mでスパート。力強くぐいぐいと進み、優勝した四方美咲（京都）を射程圏に捉えた。2秒71及ばなかったが、「十分に持ち味を発揮できた」と笑顔を見せた。インターハイ後に長距離をこぐ練習を重ね、中盤以降の安定感が増したという。

終盤に猛烈スパート

秋田高のボート部は女子部員が浅利だけ。男子部員と同じトレーニングメニューをこなしてきたことに上り、「足の踏ん張る力が強化され、1回のこぎで進める距離が長くなった」と浅利。休日には父均さん（59）にかほ市IIの指導の下、由利本荘市の神社で約240段の石段ダッシュを繰り返した。

レース後、均さんらに祝福され、「最後まで全力でこぐ姿を見せて家族に感謝を伝えたかった」と語った。両親と姉2人はボートのインターハイ出場者。「いつか自分も全国の舞台で活躍する」という目標を持って練習を続けてきた。「高校最後の舞台で表彰台に立てて良かった。大学でもボートを続け、日本一を目指す」と前を向いた。

（佐藤裕奈）